# 令和5年度 東京情報大学総合情報研究所プロジェクト研究 研究実績報告書

#### 1. 研究課題名

中学生の職業体験におけるキャリアプランニングの育成 -千葉市教育委員会と連携で行うキャリア教育の構築-

## 2. 研究組織

区分	氏名	所属・職名
研究代表者	原田 恵理子	総合情報学部 総合情報学科・教授
研究分担者	田邊 昭雄	総合情報学部 総合情報学科・教授
	大橋 宏嗣	千葉市教育委員会・指導主事

#### 3. 連携先団体等

団体名	担当部署
千葉市教育委員会	事務局学校教育部教育改革推進課

#### 4. 研究期間

2023年4月1日~2024年3月31日 (5年計画の5年目)

## 5. 研究の目的

最終年度の本研究は、昨年度の課題を踏まえ、キャリアプランニング能力の視点を取り入れた教員研修と事前事後学習及び低群の生徒への支援の工夫に焦点化し、中学生キャリア意識尺度(新見・前田、2008)と基礎的・汎用的能力尺度(文部科学省,2011)を用いて職場体験活動の効果を検証するとともに、校長及び研究主任への面接調査を通してキャリアプランニング能力に焦点化した職場体験活動の定着に向けた知見を得ることを目的とした。

#### 6. 研究報告

キャリアプランニングの視点を取り入れた教員研修の実施と事前事後学習におけるワークシートを活用したキャリアプランニング能力に焦点化したプログラムによる職場体験活動は、低群の生徒の各尺度の全ての項目が上昇し、非常に教育効果の高い内容のものであることが実証された。高群も低下がみられた項目はあったが、客観的に自己を見つめることで得点が減少したと推察されることから、本実践は教育効果のある内容であり、今後、職場体験活動を実施する際に、教員研修と事前事後学習におけるワークシートを活用することは有効な方法の1つであることが示唆された。

また、面接により得たデータについて M-GTA 分析を行い、キャリアプランニングの視点を取り入れた職場体験活動の定着についてストーリーラインにまとめた。

校長先生の面接から、学校長のリーダーシップのもと、学校教育目標を柱に年間指導計画にしたがって1~3年生に継続的なキャリア教育を展開し、地域と連携で行う学校の特性に応じた独自のカリキュラムマネジメントが教職員の体制構築のもとで実施されたことが明らかになった。研究主任の面接からは、学校独自の教育活動に導入・展開し、ガイドブックを活用した研修を行い、さらには理論に基づいてキャリアプランニング能力を向上させる指導・教育の工夫がなされていた。以上より、定着に必要なアンカーポイント(実施形態、管理職のリーダーシップ、コーディネーター的教員、実施プログラムの選定と構成、学級・学年・学校単位の試行、カリキュラム構成と評価、組織作り、研修、環境づくり、家庭との連携)(小泉,2016)を抑え、学校特性を活用したキャリアプランニング能力の育成の工夫が職場体験活動の定着を可能にすることが示唆された。

#### 7. 成果の公表

原田恵理子・田邊昭雄(2023). キャリア教育主任を対象とした研修効果に関する検討 学校教育臨床研究, 4, 41.

#### 8. 総評

#### 千葉市教育委員会 学校教育部教育改革推進課 指導主事 大橋宏嗣

本市では、今後の未来を見通すことが容易ではない不透明な時代の中において、「新しい時代を生きる子供たちのための学校教育の充実」を重点の一つとして示しています。その方策の一つのであるキャリア教育の重要性は、ますます増しています。

研究の最終年度である今年度は、昨年度に引き続きキャリアプランニング能力に着目した職場体験活動の教育効果の検証を行いました。実践校は、昨年度の検証結果を踏まえた計画的な研究の充実を図りました。本市では令和6年度より刷新する千葉市のキャリア教育の基本方針のもと、キャリア教育の推進を更に進めていきます。学校現場が具現化する際に本研究の成果が一助となることを期待しています。

#### 引用文献

小泉令三(2016)社会性と情動の学習(SEL)の実施と持続に向けて 教育心理学研究, 203-217.

文部科学省(2011)中学校キャリア教育の手引き 教育出版

新見直子・前田健一 2008 中学生版キャリア意識尺度の開発 広島大学大学院教育学 研究科紀要,第三部,57,225-233.

# 付記

本研究発表は平成30年度、令和2年度・3年度・4年度・5年度の総合情報研究所プロジェクト研究の助成を受け、千葉市教育委員会と共同で行ったものです。研究に協力していただいた松ヶ丘中学校の先生方と生徒の皆さんに深く感謝を申し上げます。なお、本研究は、東京情報大学「人を対象とする実験・調査等に関する倫理委員会」、千葉市教育委員会において承認を受けて行われました(人倫委第2019-001号,人倫委第2022-008号)。